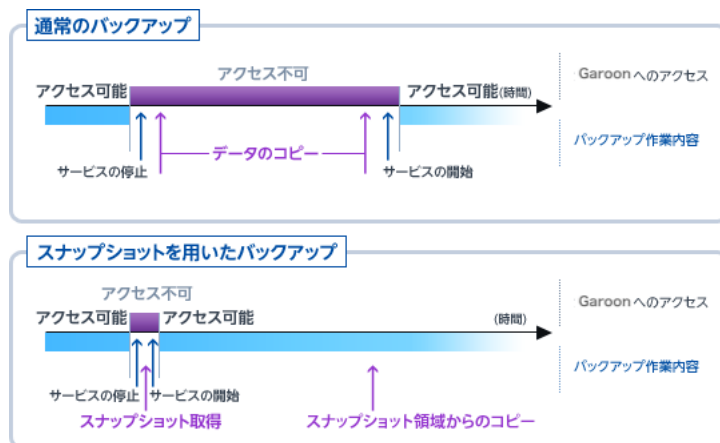


## Garoon スナップショットを利用したバックアップ時間の短縮方法

Garoon のデータは、特定のディレクトリ以下にすべて保存されています。このため、バックアップを取得したい場合、特定のディレクトリをコピーする事でバックアップを取得することができます。しかしながら、バックアップ中はサービスを停止する必要があるため、Garoon が運用できない状態となります。

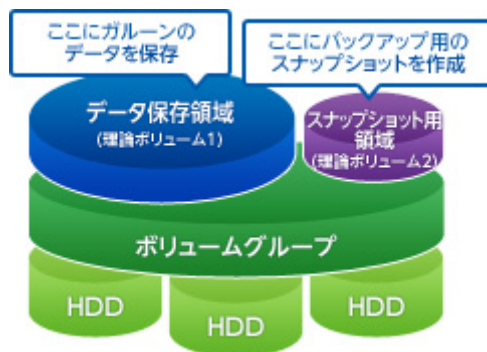
スナップショットを使用したバックアップの場合、スナップショットを取得するタイミングのみサービスを停止しておけばよいため、サービスの停止時間を短縮し、Garoon を運用できる時間を大幅に伸ばすことが可能です。



## LVM を利用したスナップショット

スナップショットの取得方法には様々なものがありますが、ここでは OS の機能を利用する方法として、Linux OS の LVM 機能を使った方法を簡単に紹介します。

通常、Linux OS では HDD などのデバイス上の領域に直接ファイルシステムを構築し、データを保存します。しかし、LVM を利用する場合、複数の HDD などのデバイスの領域をまとめてボリュームグループを作成し、その上に論理ボリュームとして、データ保存用の領域と、スナップショット保存用の領域を用意します。



論理ボリュームは通常の HDD などのデバイスと同じように扱えるため、データ保存領域として作成した論理ボリューム上に Garoon をインストールします。これで、スナップショットを使ったバックアップを取得するための準備は完了です。

後は、通常の HDD 上にインストールした場合と同じように運用します。バックアップ取得の際は、「サービス停止」⇒「スナップショットの作成」⇒「サービスを起動」⇒「任意のタイミングでスナップショット用領域から、バックアップを取得する」という手順を行うだけです。

しかしながら、スナップショットに LVM を利用した場合、スナップショット領域からデータをコピーしている間、サーバーに負荷がかかります。そのため、何も行っていない状態の時よりも性能が多少劣化することがあります。スナップショット領域からバックアップを取る際には、Garoon へのアクセスが集中している時間帯にコピーを行うのではなく、運用中でもアクセスの少ない時間帯を選んでコピーを行ってください。

**※注意事項**

本資料では、一般的な技術情報を紹介しております。

スナップショットに関する技術的なサポートはサイボузで行っておりません。